

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム親孝行

作成日 平成30年 4月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	『理念の共有と実践について』を漠然としてニュアンスが先行してわかったような気がしているのではないか。	理念を理解するためにはどうすべきかを職員同士で話し合う機会が必要であり、理念が何故存在するのか理解する。	職員会議や日々の支援の中で理念を意味を捉え職員がそれぞれ考えたことを発言し他職員の考えと比較してみる。	12ヶ月
2	5	『身体拘束をしないケアの実践』について改めて根本的なことを考えてみたい。	身体拘束が必要な時にどう対処すべきか、きちんと理解し職員同士で内容を共有する。	職員会議等で職員同士で意見を出し易い開かれた事業所を構築していくため、管理者・職員が一体となり取り組む。	12ヶ月
3	25	『暮らしの現状の把握』について、健康状態は個人差があり日常の変化を、察知できるよう観察力を高める必要がある。	高齢者の健康状態を把握することは日々の生活支援の中で最も大切なことであり、見落とした場合のリスクも理解する。	内服薬を再確認し、病状把握に努める。薬の副作用などを理解しておく。平素から職員同士で体調について話し合う。	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。